

# 10.手取り除草

## 1) 技術の概要

雑草イネは籾の成熟後に自然脱粒を始めるため、残草があった場合には脱粒前となる出穂2週間後頃までに手取り除草によって圃場から除去することが重要となります。栽培品種を識別性の高い品種（発生している雑草イネより草丈が短い品種や出穂期が遅い品種）に転換し、疎植栽培にすると作業効率が高くなります。

## 2) 必要な資材・条件等

ビニール袋等を持参し、雑草イネの抜き取り株や籾を圃場内から全て持ち出します。また、出穂期以降に地際から刈り取る場合には、柄の長い鎌や稲刈り鎌が便利です。

## 3) 期待される効果

栽培品種と識別性のあるタイプの雑草イネの場合は、出穂後2週間頃までに数回の手取り除草を行います。また、栽培品種と稈長が同程度のタイプが発生した圃場では、栽培品種を短稈品種に転換し、栽植密度を下げた疎植栽培を行うことにより手取り作業精度および見逃しによる玄米混入率を低下できます（長野農試2012 図1）。

栽培品種と識別が困難なタイプの雑草イネの場合は、移植後1ヶ月頃から移植位置と異なる箇所が発生した漏生株を複数回、抜き取ります。

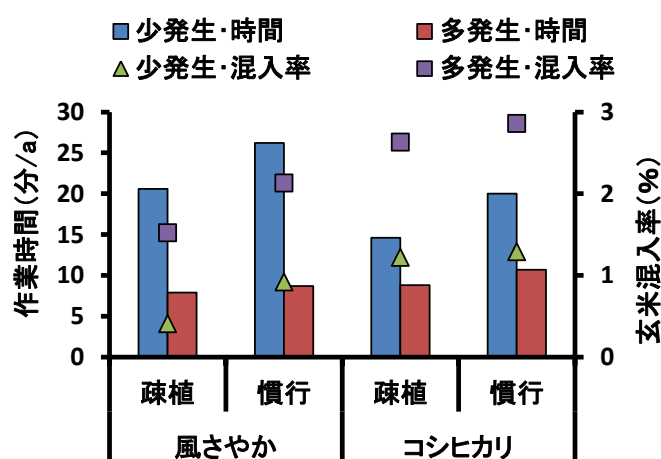


図1 栽培イネの品種および栽植密度による雑草イネの手取り除草の作業効率および精度への影響（長野農試2012を改変）

雑草イネ：栽培イネと識別性のある糯品種で代替、少発生 473 株/a、多発生 1011 株/a

風さやか：出穂期 8月10日、稈長 82cm

コシヒカリ：出穂期 8月6日、稈長 98cm

## 4) 注意点 (変動条件等)

### (1) 作業時期

雑草イネには強い脱粒性  
(籾がこぼれる)があり、出  
穂後 10～14 日目頃より、風  
などわずかな衝撃で圃場に脱  
落しはじめる (細井ら 2008  
表 1、図 2) ため、雑草イネの  
残草はそれまでに除去するこ  
とが重要です。

表 1 長野県における代表的な雑草イネ集団の出穂期、自然  
脱粒性、成熟期 (細井ら 2008 を改変)

集団・品種名 <sup>1)</sup>	出穂期 <sup>2)</sup>	自然脱粒開始期 <sup>3)</sup>	成熟期 <sup>4)</sup>
iiy-01 (D)	7/31	8/18 (18)	9/5 (36)
noz-01 (D)	8/1	8/16 (15)	9/2 (32)
kaw-01 (A)	8/7	8/29 (22)	9/17 (41)
yas-03 (A)	8/5	9/1 (27)	9/15 (41)
コシヒカリ	8/7		9/16 (40)

1) ()内はバイオタイプ (牛木ら2005) を示す。

2) 1株内で約半数の分けつが出穂した期日を示す。

3) 1株内で自然脱粒が始まった期日、()内は出穂期からの日数を示す。

4) 帯緑色籾歩合が10%以下となった期日、()内は出穂期からの日数を示す。

### (2) 地際からの刈り取り

穂のみの切除や株の中位で刈り取った場合は、その後に出穂した穂から種子が脱粒するの  
で、抜き取るか地際から刈り取ります (長野農試 2012 図 3)。

### (3) 抜き取り株の処分

手取りの衝撃で種子が脱粒してしまう  
ので、抜き取り株の穂を袋に入れる等の  
工夫を行い、圃場から持ち出して処分し  
ます (長野農試 2012)。抜き取り株を畦  
畔等に放置すると拡散の原因になります。



図 2 雑草イネ多発圃場の収穫期における雑草  
イネの自然脱粒種子 (2005 年、長野県農政部)  
15 個体/m<sup>2</sup>程度の雑草イネが残存した圃場

### (4) 手取り除草の回数等

雑草イネは、同一圃場内でも発生時期  
や出穂期、草丈が異なる個体が混在して  
います。雑草イネを目視により発見する  
手取り除草は、見落としによる残草があ  
りますので、必ず複数回の作業を行いま  
す。また、広範囲を目視することも見落  
としの原因になりますので、1 工程は 3  
～4 条間とします。

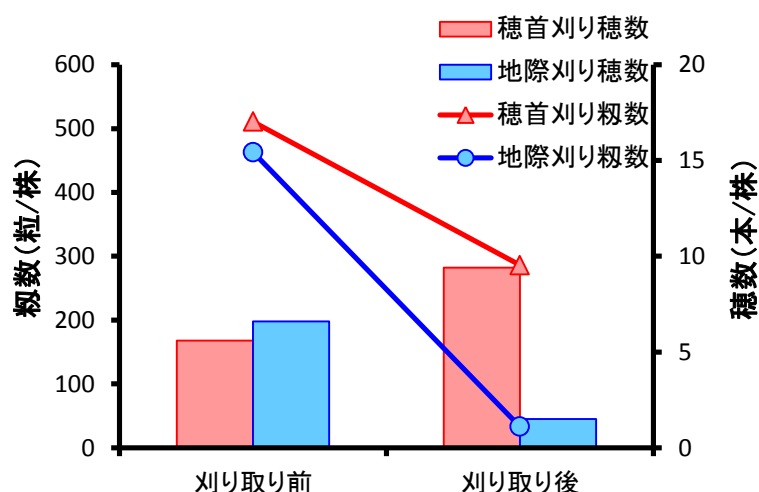
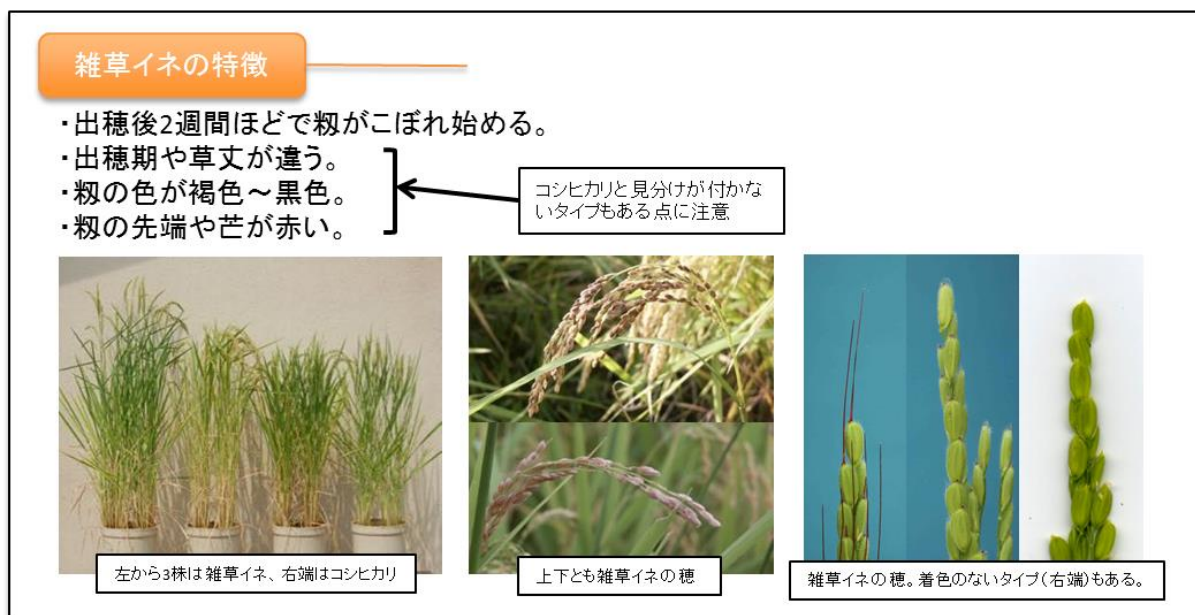


図3 雑草イネの刈り取り位置による種子数の違い（細井ら 2008 を改変）

現地圃場において出穂期（8月初旬）の雑草イネを刈り取り、9月下旬に調査した。穂首刈り取り株は全株で遅発穂が発生した。

## 5) 参考文献等

- ・長野農試 2012. 「雑草イネ総合防除対策マニュアル」  
<https://www.agries-nagano.jp/wp/wp-content/uploads/2016/10/2012-2-h02.pdf>
- ・長野県で発生した雑草イネ（トウコン）における脱粒性の推移と脱粒籾の発芽能力（細井ら 2008. 日本作物学会紀事 77, 321-325）
- ・雑草イネおよび漏生イネの手取り除草における作業能率の向上法（細井ら 2008. 日本作物学会記事 81（別1））



見分け方は既存マニュアル(URL を p.100 に記載) も参照してください。